

福祉健康講座 事業報告

日 時 令和3年3月14日(日) 13時～15時30分
場 所 広見まちづくりセンター
内 容 「普通に死ぬ～いのちの自立」映画鑑賞
参加人数 34人

感 想

- ・支援下さっている方々、本当にご苦労様です。広く社会にお知らせする機会があればと思います。
- ・素晴らしい映画をありがとうございました。しょうがいを持つご家族の方々のご苦労を考えると並大抵の苦労ではないと思います。少しでも協力が出来るならお手伝いをしたい思いでいっぱいです。本当にありがとうございました。
- ・何も気負うことはない。こうしたい、という思いをどうしたら実現できるのか。制度がないから、・・・がないからは言い訳。どうしたらできるのかを常に前向きな方向で考え、向き合っていきたいと、この映画(ドキュメンタリー)を観て、あらためて強く感じました。富士市で広く広く浸透してほしい。
- ・とても感動しました。普通に生きて死ぬことの難しさを教えて頂きました。ありがとうございました。
- ・当たり前前の生活ができる幸せを感じました。支援ができるようで難しいなど。支援員さんの苦労が大変さが・・・
- ・地域で普通に障害のある人も暮らせることって、とても大変なことだと思いますが、温かな沢山の支援の中で行われていて、私自身も心震える思いになりました。とても感動しました。これからも頑張ってください。ありがとうございました。
- ・障害者と一言で言っても、実際に24時間一緒ですと、理解と同時に過ごせるかは分からない。でも声を大にして近づきたい。
- ・スタッフの皆さんの熱意に感動しました。`生きる`ということをあらためて、再認識と改めて覚悟を決める。
- ・障害が有る人と共に生活をするということは、本当に大変なことだと思います。色々な経験をし、気持ちの持ち方も大変ではないかなと思いました。共生するということは本当に大変なことだと思います。勉強になりました。ありがとうございました。
- ・障害があってもなくても地域の中で普通に生活をするということは当たり前、自然なことだと思います。毎日を大切に生きていきたいと強く感じました。

- ・毎日が深い愛情と思いやりの戦いだった。人の基本的な本質的な生き方を知らせる、考えられた時間でした。
- ・障がいを持って生まれても、人の温もりの中で生き、そして普通に亡くなる権利があると思います。このような施設が広見にあることを住民の皆さんが知り、思いを寄せ、協力出来ることを見つけていかなければと感じました。
- ・この映画をもっと沢山の人に観ていただきたいと思いました。
- ・すばらしい映画でした。ありがとうございました。
- ・でら〜と、Good San、の皆さんを周りで見ているだけだと分かりませんでした、こうして映画で生活を見せてもらい本当に大変なことだと思います。ご苦労なことです。頑張ってください。エールを送り続けます。
- ・映画を観て色々教えていただけました。何かできることがないか（私にとって、町にとってできること）を色々これからも教えていただきたいです。
- ・様々な困難の中、やっとなら具体的な小沢様の努力が実りつつあり、感激いたしました。グループホームが活性化してより良い支援ができることを期待します。
- ・地域の中で生活する難しさを知ることが出来ました。誰もが住み慣れた場所で生活するための工夫が必要なのだと知りました。
- ・とても良かったです。わかっているようで知らないことがいっぱい。地域の輪が広がるといいですね。行事に参加している姿（様子）は応援したいと思います。
- ・ありがとうございました。胸一杯、頭もいっぱいです。ボランティアに行きたいと思いつながら、なかなか一歩が出ません。
- ・重度障害児の日常を知ることができ良かったと思います。本当に毎日大変な思いをしているのだと・・・人々の熱意が色んな問題を解決していくのだとつくづく思いました。関心を持っていかなくてはと強く思いました。
- ・涙が止まらない。生きること、普通に生きること、涙が止まらない。私の妹も同じように障害の子を育てています。「とてもかわいい！！」と話してくれます。素晴らしい映画と努力の強さを感じました。
- ・長時間の記録映画をありがとうございました。障害者も健常者も普通に生きるということの大変さ！大切さを痛感しました。ありがとうございました。そして、本当にご苦労様です。
- ・障害を持った子どもが、家族の絆の力を、そして家族だけでなく、繋がる力をくれることを教えてくれました。
- ・身体障害者の世話は大変だと思いました。
- ・重度障害者には行政のお手伝いが必要です。